



市民が主人公の政治実現へ 安心して暮らせる福山市を

鞆町の環境改善すすむ 浮棧橋整備と離合箇所設置



鞆港の大波止付近は、長年、水産加工業者が港湾施設を不法占拠し、夜の作業による騒音や、魚を洗った廃液を多量に海に流すなど、近隣住民から苦情が寄せられていました。

また、鞆港内4ヶ所の浮棧橋のうち、2ヶ所は地元水産加工業者が許可で設置したもので、少なくとも70年代から不法使用が続けられてきました。この度、広島県が不法棧橋を撤去することを明らかにしました。

さらに、広島県が管理する浮棧橋には自動車や長時間駐車されたり、廃船が係留されるなど、他県からの観光客からも「港からの眺望が台無し



離合地が設置されました

市役所で放射線測定はじまる ―福山市はガンマ線 0.036と0.06マイクロシーベルト―

3月11日の東電福島第一原発事故で放射性物質が検出されていることから、福山市内でも、大気中と海水浴場の放射線測定を始めました。

放射線濃度は、市役所屋上(地上60m)と、国道2号線沿いの大気監視測定局舎横(地上1m)の2箇所を毎日1回(午前10時)測定します。



2台の放射線測定器の平均値をみます。0.060と0.036μSvの数字が見えます=福山市役所

労使なれあいの 自治体改革推進会議は廃止を

福山市は長年、「自治体改革推進委員会」「厚生事業委員会」「安全衛生委員会」を設置し、市幹部と労働組合役員が、市の管理運営に関わる事項や職員の労働条件などの協議を重ね、労使協調で市政運営を行ってきました。

この判決を受け、市職員8人は、04年10月から05年6月の9カ月分の給与計3620万円と、この間の利息を市に返還していません。

摘されました。それにも関わらず福山市は、新たな装いで「自治体改革推進会議」を続けています。6月議会本会議では、労組幹部の職務専念義務を免除給与を返還すること、「自治体改革推進会議」を解散し、労使なれあいの市政運営をやめるよう、強く求めました。

国保窓口負担金 ねがい実現へ一歩前進

減免制度ができました

国保加入者が入院や外来で医療機関を利用した場合に、窓口での医療費を免除する制度ができました。

の窓口で払うお医者代が全額免除になります。また、生活保護基準以上でも、支払いを猶予される場合があります。

これまで、前年度所得の50%以下にならないと、適用できなかった減免制度ですが、世帯の収入が一時的に減少し、生活保護基準以下であれば、病院で繰り返して求めたことが一部実ったものです。



村井あけみ



高木たけし



土屋とものり



式部昌子